

<p>課題名 脳卒中患者の自動車運転能力評価における小脳系機能の役割</p>
<p>(1) 新規に導入される医療 (2) 保険診療の対象とならない医療 (3) 患者に不利となる可能性のある医療 (4) その他</p>
<p>研究責任者 : リハビリテーション部 作業療法士 田中 聡士</p>
<p>概要：前向き研究 目的：小脳では無意識下の運動の円滑化、適正化がおこなわれている。意図していた情報との誤差を検出し減少させる学習（誤差学習）が行われており、脳卒中患者が運転操作を遂行する上で重要な学習機構とされている。今回、それら小脳機能と運転能力との関連性を明らかにすることを目的とする。研究を通じて、臨床場面におけるより多角的かつ精度の高い運転評価を実現し対象者の運転・移動支援に貢献することを目指す。 対象：当院にて運転評価を受ける脳血管疾患患者。 方法：対象者の基本情報(年齢・性別・疾患名・運動麻痺の有無、罹患期間)、神経心理学的検査の結果、運転シミュレーターの結果を収集する。なお、上記データは既存の運転評価手順の中で収集されるデータである。小脳機能の検査として、加速度計が搭載されたスマートフォンを把持しその上にペットボトルを繰り返し置く反復動作を行う課題（スマートフォン課題）を実施しその加速度波形から特徴量を抽出する。この課題は作業療法士が対象者に対して実施する。課題には約3分の時間を要する。なお、本課題は過去の研究で当院患者を対象に実施されており、その際に心身面の負担等の問題は報告されていない。 解析：基本情報・運転評価の結果とスマートフォン課題の成績との関連を解析する。</p> <p>共同研究者：金沢大学医薬保健学類保健学研究科 准教授 作業療法士 米田 貢 金沢大学医薬保健学類保健学研究科 助教授 作業療法士 菊池 ゆひ</p>